



特定非営利活動法人 なんとなくのにお 通信

URL <http://nantonakuno.net/>

Mail [info@nantonakuno.net](mailto:info@nantonakuno.net)

## 楽しい=おいしい! ?

### 作って食べよう・居場所食事会

9月の視察研修で“居場所は、来ている人もスタッフも楽しい場所じゃないと”というアドバイスをうけてなんにわでも何かみんなが楽しいことを始めてみよう、ということで昼食づくりをやってみることにしました。

第1回目は10月。来ている子の得意料理のだし巻き卵を中心に野菜炒めなどの昼食づくり。

11月はシチューとピザトーストの昼食作り。お



蒸しケーキ作り(1月):きれいに、おいしく、できました。

腹いっぱいになりました。

12月はクリスマス会でケーキづくりやパーティーの食事づくり。別の日に若いスタッフ提案のたこやきにも挑戦してみました。

1月はスタッフの都合で蒸しケーキづくりだけになってしまいました。

2月はいちご大福づくり。7個も食べちゃった人います。肉じゃがメインの昼食づくりも予定しています。

はじめてみると、ひとりひとりの意外に得意なところがあらわれたりして発見があります。また、みんなで作ってみんなで食べるっていうのはやっぱり、やっぱり楽しいです。今後は週1回に増やせるよう努力していきたいと思っています。

(西尾)

食事を一緒に食べるというのは、みんなの気持ちをより一層近づける小道具ですね。みんなの顔が自然にゆるみます。嬉しいですね。

ここで忘れてはいけないことはみんなで作るということ。自分たちで作るからこそ嬉しさが倍増するのだと思います。そして片づけをするのもみんなで。これからレパートリーを増やしていきたいですね。

(白井)



いちご大福作り(2月)  
上から時計回りに:  
いちごをあんでくるみます  
あんこをくるむお餅作り  
うまく包んで、完成!



## 目次

楽しい=おいしい 昼食作り	1
お知らせ	2
活動日誌	3
なんにわまんが・2	3
こんな本はいかが? (14)	4



## 居場所のひとこま

2月のお昼作りのメニューは肉じゃが。料理が好きな子、あまり包丁を持ったことのないスタッフ、それぞれ頑張りました。ごはん、生姜入りのスープ、肉じゃが、サラダ、ヨーグルト。豪華なお昼ができました。詳しくはホームページをごらんください。

## ■ イベントのお知らせ

子育て・親育ち勉強会 第8弾

「ん？うちの子、ちょっと心配？」  
と思ったら 小・中学校編

講師：帷子 顕二郎さん

日光市教育委員会 発達相談員（臨床心理士）

こんな事  
ありませんか？

- ★勉強を頑張っているのに・・・
- ★宿題が終わらない
- ★こだわりが強い
- ★同年齢と比べて幼い感じがする

あなたの具体的な悩みや  
質問に帷子さんが答える  
質問タイムもあります。

日時：2011年3月12日（土）  
午後1時30分～3時30分

場所：日光市今市中央公民館小ホール

定員：40名（先着順）

参加費：無料 ★託児あります（300円/人）

（子どもたちの交流が楽しそうですよ。）

主催：NPO法人なんとなくのひろば

共催：日光市

後援：日光市教育委員会

問い合わせ&申込先：

NPO法人なんとなくのひろば

TEL：090-3227-7079

※駐車場が満車の時は、日光市民活動支援センターに  
駐車してください。



土

子ども達の個性によって、ヤル気  
や努力でカバーしきれないことが  
あります。

勉強で、友達関係で、そしてご家  
庭で気になることがあった時、  
どんな支援が受けられるのか！  
ご家族にできることは何なのか！  
帷子さんがお話しします。

帷子 顕二郎さん プロフィール

- ・青森県出身
- ・信州大学 教育学部  
教育カウンセリング課程 卒
- ・嶋門教育大学院 学校教育研究科  
教育臨床専攻 卒
- ・2006年 とちぎリハビリテーションセンター  
心理判定嘱託員
- ・2007年 日光市教育委員会へ



☆☆☆科☆☆☆学☆☆☆お☆☆☆茶☆☆☆会☆☆☆ 第31回

なんにわ サイエンス・カフェ 3/19 (土)

## 今市の生い立ち

— 今市の地形・地質を中心に —

講師：高山豊明さん（元・今市中学校校長）

地形や地質の特徴から、今市地区の地質学的な成り立ちを探ります。周辺の  
火山の噴火や河川による浸食などによって、今市の地形がつけられました。  
その証拠は、身近な場所に顔を出しています。長年にわたり地元の地質調査  
を続けてきた高山さんからお話を伺います。

日時：2011年3月19日（土）

午後7時30分～9時

会場：日光市民活動支援センター

主催：NPO法人 なんとなくのひろば

<http://www.nantonakuno.net/>

後援：日光市教育委員会

参加費：300円（お茶・お菓子代）

お問い合わせ：090-3227-7079



## 発達障がい支援者連絡会

発達障がいを持つ子の親、学校関係者、市民団体等が自由に  
意見交換を行い、今できることに取り組んでいく集まりです。毎月  
第4月曜日、午後7時から、日光市民活動支援センターで開  
いています。どなたでも参加自由の会。気軽にご参加ください。  
（担当：西尾・白井） 連絡：090-3227-7079

## 「学びサポート」より

新学習指導要領の移行措置とやらで、  
「もう1冊の教科書」を子どもたちが持つ  
てきます。出版社にお金が入り、これも景  
気浮揚策の一つかもなどと思いながら、理  
科の教科書を開いてみると、電気の実験が  
増えているのが目立ちました。直接、目  
で見ることができない電気や磁気、生活の中  
でさまざまな形で活躍しています。あまり  
に生活に密着しているので、普段は疑問を  
感じませんが、ちょっと調べてみるといろ  
んな不思議に出会うことができます。

電圧を変えて電球やLEDがどう光るか  
を調べたり、電熱線を温めてみたり、簡単  
な電気実験をやっています。白熱電球は電  
圧を上げていくと、赤みを増しつつ光り出  
します。LEDは色が変わることはなく、あ  
る電圧から光ります。そんな違いが印象に  
残ります。普段は触れる機会のない「ニク  
ロム線」に数ボルトの電圧をかけると、じ  
わっと暖かくなります。電熱線をじかに手  
でつかみ、確かめることができます。

そんな実験の向かい側では、中学生が英  
語の宿題に取り組んでいることもありま  
す。「サポート」をはじめた頃を思い出  
すと、ずいぶん落ち着いた雰囲気になってき  
ました。参加している子どもたち、スタッ  
フ・サポーターのみなさん、これからもよ  
ろしくお願いします。（手塚）

## 私たちと一緒に活動しませんか。

報徳今市振興会館での「子どもの居場所」運営、「学びサポート」、ホームページの維持管理、子育て相談、講演会  
やサイエンス・カフェなどイベントの立案運営など、「なんとなくのひろば」はいろんな方向に活動を展開しています。  
事業として挙げていても、なかなか継続的に動いていない、「自然環境の中での学びを作り出し、子どもたちに自然  
環境保全の大切さを啓発する活動」などもあります。興味をお持ちの方は遠慮なく、電話、メール、ファックスなどで、  
ご連絡下さい。みなさまの協力をお待ちしています。

これまでの活動の内容は、ホームページ <http://www.nantonakuno.net/yotei.html> などをご覧下さい。（手塚）

# ☆ 活動日誌

- 11月 8日(月) 茶話会(第17回)  
 11月13日・14日(土・日) ベリー会(全国大会)  
 11月27日(日) ワカモノ・フェスタ実行委員会  
 11月29日(月) ワカモノ・フェスタ実行委員会  
 11月30日(火) なんにわ・作って食べよう!  
 12月 3日(金) ワカモノ・フェスタ実行委員会  
 12月 4日(土) ワカモノ・フェスタ実行委員会  
 12月 5日(日) ワカモノ・フェスタ  
 12月 5日(日) 内田良子さん講演会(下野市)  
 12月13日(月) 茶話会(第18回)  
 12月19日(日) ベリー会  
 12月21日(火) 居場所たこやき会(つくって食べよう!)  
 12月24日(金) クリスマス会・学びクリスマス会  
 12月26日(日) 年末ドリームフェスタ(「祭会」に協力)  
 1月 8日(土) 理事会(第37回)  
 1月10日(月) 茶話会(第19回) 日光アイスアリーナ  
 1月24日(月) 発達障がい支援者連絡会(第50回)  
 1月25日(火) 蒸しパン作り(子どもの居場所)  
 1月29日(土) ワカモノ・フェスタ実行委員会  
 1月30日(日) ベリー会  
 2月 8日(火) いちご大福作り(子どもの居場所)  
 2月14日(月) 茶話会(第20回)  
 2月15日(火) 居場所昼食会(つくって食べよう!)  
 2月27日(日) ベリー会  
 2月28日(月) 発達障がい支援者連絡会(第51回)

## 「なんにわ」があるじゃないか! 理事・沼尾(又ミヤーン) 作



### 「リレー文」でなんにわ紹介

支援センター・げんきステーション2月号「リレー文」より沼尾理事による「なんにわ紹介」を転載します。

まにまに工房の熊谷さんから、バトンをいただきました、NPO法人なんとなくのにお理事の沼尾忠宏です。

なんとなくのにお(なんにわ)は、不登校の子の居場所としてはじまりました。学校にいかない子や家にひきこもっている子が、のんびりとすごせる居場所を提供しています。僕は、スタッフとして、子どもたちと一緒にゲームをしたり、絵をかいいたり、スポーツをしたり、料理をしたりしています。新しい発見があって楽しいです。はじめは、落ち着かなかったり、なじめない感じの子も時間がたつにつれ、落ち着いてきたり、表情が明るくなっていくかんじがします。

なんにわで、僕の三味線ライブをひらいてもらったり、子ども達にギターやドラムを教えたり、マンガの描き方を教えたりと、僕の得意なところを活かせる場所もよかったです。こんなふうに、子ども達がしたいことを、みんなで応援して実行してしていけるところも、なんにわのよいところですよ。

そのほか、なんにわの活動として、科学について学んだり考えたりする集まり、サイエンス・カフェや、若者を対象とした若者の居場所、発達障がい支援者連絡会や、毎年12月におこなわれる不登校・ひきこもりをテーマにしたワカモノ・フェスタ実行委員会への参加など、幅広い活動をおこなっています。

又ミヤーンの「なんにわマンガ」は随時掲載です。  
カラーでご覧になりたい方はホームページをご覧ください。

## 特定非営利活動法人 なんとなくのこわ 通信

〒321-1261 栃木県日光市今市378  
電話 090-3227-7079 / Fax 0288-21-2631  
E-mail: info@nantonakuno.net  
ホームページもご覧ください。  
<http://www.nantonakuno.net/>



ここにこにっこう！ 日光市子育て支援 HP  
<http://www.nantonakuno.net/kosodate/>

### こんな本はいかが？ その14

#### 「徒然草」と「方丈記」に於ける厭世感 山田清一

双方を比べると、明らかに「徒然草」のほうがより嫌気がさして、隠遁生活に入って書き物をした、ことが解る。各々の文はすばらしいが、俺の感触として、兼好はやぶれかぶれになって「徒然草」を著した、としか思えない。著作物自体が長いために心に残る文も多いけれど、抽象的にしか記されていない。ということは自分でも明確には把握が出来ていなかった証拠だ。読んでみると此方まで気が滅入ってくる。しかし「方丈記」の場合には俺が励まされてしまうところが見出される。双方ともに、哀調に満たされて入るけれど、長明は評伝によると、幼少時に両親を亡くしている。そして名刹の神官の座を約束されていたけれど、それが嫌で出家をしたと云われる。理由はそれだけではないだろうな。でもそこまで勘ぐる必要もあるまい。

兼好の場合には何故、厭世感に囚われたのかが何度読んでも俺には理解ができない。曖昧な文であるが故に大和人には好まれたのでは！とらえどころのない文であるために、なお更、“あはれ”を誘ったのだと思われる。それとも私自身がいつも、徒然草を読むと、将来への希望が失われてしまうようだ、という・先入観に溺れてしまっているためなのかな。(※ これについては、日本文学者の一般的な見解とは違うことを承知の上で私見としての見解) “あはれ”よりも[無常]の訴えのほうが、兼好の作品には強く出ていると私は感じた。この見解を否定される研究者・読者が居られることも承知だ。故に無理に私の見解を押しつけるものではない。

何度も通読をしていると解ってくることなのだけれど、[無常]という単語はほとんど出ない。故に、“方丈記”よりも強く訴えてくる[無常]の強さを知らされる。対照的な表現で厭世感を伝える。これを追求していくときに、2人ともに孤独な幼少期がこの作品の残った要因となっていることを知った。表現の仕方と難解な文章には、共通する単語。[無常]が存在することにやっと気づいた。政治に巻き込まれることを嫌って、隠遁者となった者には世間に拗ねて、著すことで世間の非難を回避するしかなかったのかもしれない。しかし、或る方に伺ったところ「当時、心ある僧侶は[政治]に巻き込まれてしまうことを嫌い、出奔して、隠遁生活に逃げ込む僧侶も多くいました」とのことであった。良心的で有るほど、それから逃れるために意図的に隠遁者となったとも言える。

二人を比較すると、そのようなことでもないかもしれない。天変地異の激しさと自分たちの生い立ちや、立場を考慮して、隠遁生活に入ったのではないだろうか。両名、共に心優しいがための行動として、和歌を詠み、赴くままに自分の想いを書き表したのだろう。文学的評価は専門家に委ねるけれど、二人とも希代の人物であったことは否めない。

### 私たちの活動目的：

日光市およびその周辺地区に居住する子どもおよび青少年等に対して学習や自立の支援活動を行い、地域の人々が支える新たな学びの場を作り出すことを目的とします。

### 私たちの事業：

- ① 子どもたちの自主性および自立性を尊重した居場所の提供および学びの場の運営
- ② 子どもたち一人ひとりに対応した、新たなカリキュラムや学習内容の開発
- ③ インターネットなどのIT環境を活用した学びの支援
- ④ 教育についての相談や情報提供活動
- ⑤ 学校外で育つ青少年の自立に関する相談および就労を支援する活動
- ⑥ 自然環境の中での学びを作り出し、子どもたちに自然環境保全の大切さを啓発する活動

### 会員について

正会員：50

賛助会員：20

団体会員：3

入会金はありません。

年会費(一口)：正会員3,000円

賛助会員 個人5,000円、団体10,000円



「なんにわ」活動の約3割は会費でまかなわれています。会員の継続をよろしくお願ひします。会員は新たな事業の提案、会の事業の運営などに直接かかわることができます。皆様の積極的な参加をお願いします。

### なんとなくのへや

神田・古本屋街の科学書専門店、明倫館書店で「ダンネマン大自然科学史」を見つけました。三省堂から30年前に出版された科学史の古典的名著です。以前の勤務先では図書館に置いてもらい、長年重宝していました。手元にほしいけれど、すでに絶版。8万円もする復刻版には手が出ないでしょうと思っていたところでした。値段を見たら全巻揃いで6千円。あまりの安さに店員との値切り交渉はパス。13巻を紙袋2つに入れてもらいました。帰り道、腕が痛くなり、駅までの道で何度も休憩。ついに重い本も買えない歳になったかと思いつつも、いい買い物をしたと気分は軽い。そんなわけで、科学の歴史について、いろいろな疑問に答えてくれる本を手に入れることができました。(T)